

吉野杉の里を訪ねて 奈良県吉野郡川上村訪問

4月24日、昨年台風12号で大きな被害を受けた川上村を訪問しました。かつて最高級資材として栄華を極め、ヘリコプターでの集材が主流だった吉野林業。パブル崩壊後の1997年に価格暴落以降、最も古くて美しい人工林を守り育て進化させるため、30年前から作業道作りに取り組んでおられる岡橋家の山を作家の天野礼子さんの案内で伺い、吉野林業の現状を視察してきました。



間伐材を利用し、不安定な路肩を丸太でくみ上げて補強し土留め工事を行います。組み上げられた丸太は、木材の搬出作業の為に2tダンプが通ってもびくともしない丈夫な作業道を支えています。



木は土の中では腐敗しにくいという特性を生かした工法です。



写真のように作業道が伐採期を迎える大径木の杉材を支えています。



日本一の多雨地域である大台ヶ原を控え、急傾斜地で地質も複雑という困難な状況下でありながら、長年の地道な作業により現在作業道の総延長は78Kmlにも及んでいます。

長期優良住宅現場情報

M邸建方を完了いたしました。現在外壁の外張り断熱工事をすすめています。



建方作業を行いました。

工事の無事完成を祈り上棟式を執り行いました。



外張り断熱材は旭化成ネオマフォームを使用し次世代断熱基準をクリアしています。

長期優良住宅完成現場情報

瓦版No124で紹介いたしましたS邸の外構工事が完了しました。



門柱廻りに御影石とアルミポールを立て変化をもたせました。4月末にはハナミズキが白い花を咲かせました。